（財）日本学校体育研究連合会

北海DO! Plus One

第51回 全国学校体育研究大会

北海道大会 報告書

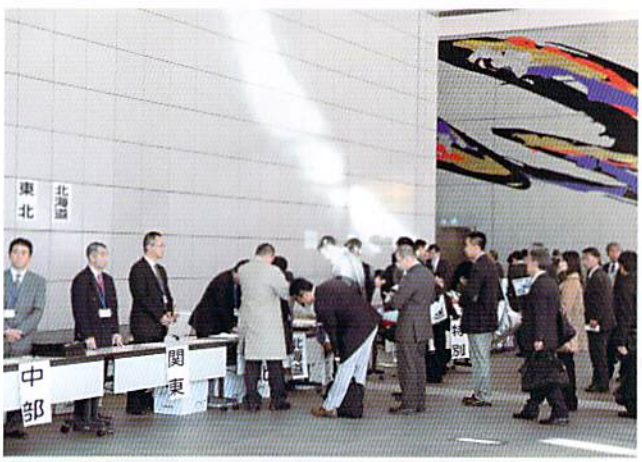
研究主題

「未来へつなぐ健やかな心と体をはぐくむ体育学習の充実」
～授業から日常へ、授業から未来へ～

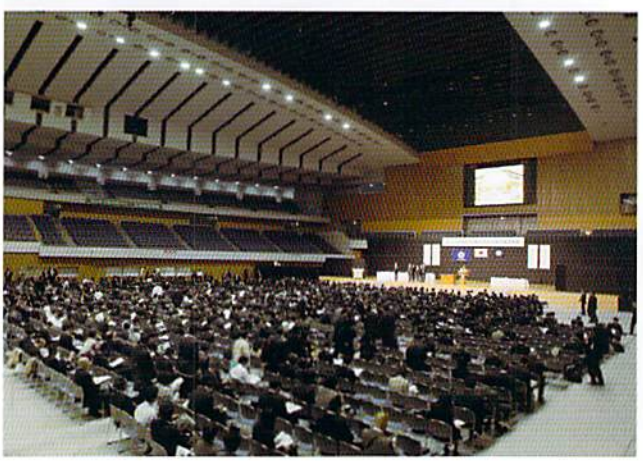
期　日　平成 24 年 10 月 25 日(木)～26 日(金)

第 51 回全国学校体育研究大会北海道大会実行委員会
ホームページ　http://www.h-taikenren.jp/

歓迎
第51回
全国学校体育研究大会北海道大会
【期日】平成24年10月25日(木)～10月26日(金)
【主催】文部科学省・財団法人日本学校体育研究連合会
【主管】第51回全国学校体育研究大会北海道大会実行委員会
九州
中国
四国
近畿
中部
関東
東北
北海道


東北
北海道
関東
中部

関東
中部
東北
北海道
関東
中部



開会のことば
北海道大会 副実行委員長　　成 田　純 一

開会のあいさつ
北海道大会 実行委員長　　飯 沼　　晃

主催者あいさつ
文部科学省 スポーツ・青少年総括官　　山 口　　敏

主催者あいさつ
財団法人 日本学校体育研究連合会 会長　片 岡　暁 夫

主催者あいさつ
北海道教育庁 教育次長　　吉 田　一 昭

来賓祝辞
北海道環境生活部 文化・スポーツ担当局長　山 田　　亨

歓迎のことば
札幌市 副市長　　生 島　典 明

次期開催県あいさつ
東京大会実行委員会 会長　　古 家　　眞

閉式のことば
北海道大会 実行副委員長　　下山　信弘

開　会　式

基調報告
北海道学校体育研究連盟 研究部主任　　嶋本　　剛

解説　　文部科学省スポーツ・青少年
体育参事官付教科調査官　　石川　泰成

シンポジウム　　コーディネーター
筑波大学 教授　　岡出　美則

シンポジウム
コーディネーターとシンポジスト

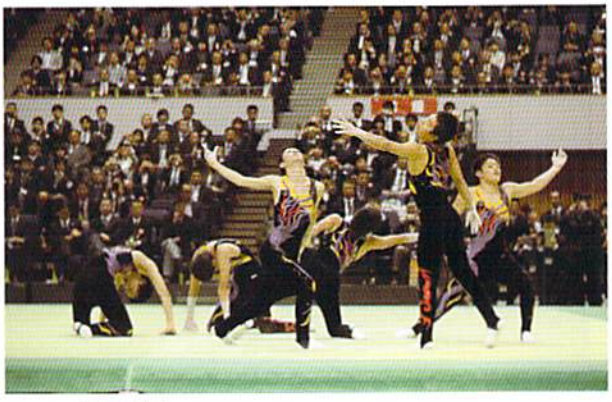
シンポジウム　　シンポジスト
信州大学 教授　　岩 田　　靖

シンポジウム　　シンポジスト
東京都駒場高等学校 主任教諭　　須 黒　祥 子

シンポジウム　　シンポジスト
佐賀県立香楠中学校 教諭　　髙 木　　健

シンポジウム　　シンポジスト
札幌市教育委員会 指導主事　　三戸部　文 彦

特別講演
東海大学 理事・副学長　　山 下　泰 裕



公開演技
北海道恵庭南高等学校　　男子新体操部

公開演技
よさこいソーラン演武　　平岸天神

表彰式
全国学校体育研究優良校・功労者表彰

目　　次

大会スナップ
1　開催要項 …… 1
2　開会式
(1)　次第 …… 3
(2)　開会のあいさつ
(3)　主催者あいさつ
・文部科学省
・財団法人日本学校体育研究連合会
・北海道教育庁
(4)　来賓祝辞
(5)　歓迎のことば
(6)　次期開催県あいさつ
3　基調報告 …… 11
4　解　　説 …… 27
5　シンポジウム …… 35
6　特別講演 …… 57
7　分科会一覧 …… 71
8　研究のまとめ …… 73
9　分科会研究発表・研究協議等記録
(幼稚園)
第１分科会　札幌市立白楊幼稚園 …… 79
(小学校)
第２分科会　札幌市立白楊小学校 …… 85
第３分科会　札幌市立宮の森小学校 …… 91
第４分科会　札幌市立福住小学校 …… 97
第５分科会　札幌市立資生館小学校 …… 103
(中学校)
第６分科会　札幌市立上野幌中学校 …… 109
第７分科会　札幌市立月寒中学校 …… 115
第８分科会　札幌市立向陵中学校 …… 121
(高等学校)
第９分科会　北海道恵庭南高等学校 …… 131
第10分科会　北海道北広島高等学校 …… 137
(特別支援学校)
第11分科会　北海道札幌市立豊明高等養護学校 …… 143
10　平成24年度全国学校体育研究
最優秀校・優良校・功労者受賞者一覧　表彰者代表謝辞 …… 149
11　主催・共催団体関係 …… 160
12　北海道大会実行委員会名簿 …… 162
13　北海道大会運営役員〈全体会・分科会〉 …… 166
14　全国学校体育研究大会開催地及び研究主題一覧 …… 168
編集後記

第51回全国学校体育研究大会北海道大会
開　催　要　項

1　趣　　旨

現代社会においては，子どもたちを取り巻く環境の変化に伴う運動機会の減少による体力の低下，生活習慣の乱れや精神的なストレスによる健康への影響等が依然として深刻な問題となっている。このような中，未来に生きる子どもたちに健やかな心身の育成を図り，生涯にわたって健康を保持増進し，豊かなスポーツライフを実現していくことは極めて重要である。

本大会は，子どもたちが自ら進んで運動やスポーツに親しむ資質や能力を身に付け，体力の向上とともに健康な生活を実践することができるよう，教育関係者及び体育・スポーツ研究者が一堂に会し，公開授業・保育，研究発表，シンポジウム等を通して，これからの学校体育の充実方策について研究協議を行う。

そこで，本大会における研究主題は，新学習指導要領の趣旨とこれまでの北海道の体育研究の成果を踏まえ，『未来へつなぐ健やかな心と体をはぐくむ体育学習の充実』と設定した。

この主題は，発達段階を考慮し，心と体をより一体とした指導および実生活や実社会に生きる指導の充実を図ることが生涯にわたって生き生きと運動・スポーツに親しむ子どもの育成につながると考え，設定したものである。

北海道では，研究主題の具現化のために，体育・保健体育で育成したい力，すなわち「技能（運動），「態度」，「知識，思考・判断」の指導内容を確実に身に付けさせていくために【生涯スポーツにつながる教材の開発・工夫】【児童，生徒が共同的，課題解決的に取り組む学習過程の構築】【児童，生徒の確かな学力を保障する指導と評価の充実】の３点を柱として授業を中心とした研究を積み上げてきた。

本大会では，これまでの成果を踏まえ，公開授業・保育並びに分科会において，学校体育の充実の在り方について提案し，研究協議を行うものである。

2　大会主題　「未来へつなぐ健やかな心と体をはぐくむ体育学習の充実」
～授業から日常へ，授業から未来へ～

3　主　　催　文部科学省　財団法人日本学校体育研究連合会

4　共　　催　北海道教育委員会　札幌市教育委員会
北海道学校体育研究連盟

5　主　　管　第51回全国学校体育研究大会北海道大会実行員会

6　期　　日　平成24年10月25日（木）・26日（金）

7　会　　場　(1)　第１日全体会会場　北海道総合体育センター「北海きたえーる（愛称）」
（北海道札幌市豊平区豊平５条11丁目１－１）

(2)　第２日　分科会会場　全11会場

第１分科会　札幌市立白楊幼稚園　　第２分科会　札幌市立白楊小学校
第３分科会　札幌市立宮の森小学校　　第４分科会　札幌市立福住小学校
第５分科会　札幌市立資生館小学校　　第６分科会　札幌市立上野幌中学校
第７分科会　札幌市立月寒中学校　　第８分科会　札幌市立向陵中学校
第９分科会　北海道恵庭南高等学校　　第10分科会　北海道北広島高等学校
第11分科会　北海道札幌市立豊明高等養護学校

8　参加対象者　(1)　全国の幼稚園，小学校，中学校，高等学校，中等教育学校，特別支援学校の教員並びに保健体育行政関係者
(2)　社会体育等の指導者および大学等の研究者
(3)　一般参加者　等

9　内　　容　(1)　全体会（第１日）
①開会式
②表彰式
③基調報告
④解説「効果的・効率的な評価の在り方」
文部科学省スポーツ・青少年局体育参事官付　教科調査官　石川　泰成
⑤シンポジウム　「指導と評価の一体化を目指した授業つくり」
コーディネーター　岡出　美則（筑波大学　教授）
シンポジスト　岩田　靖（信州大学　教授）
須黒　祥子（東京都駒場高等学校　主任教諭）
髙木　健（佐賀県立香楠中学校　教諭）
三戸部文彦（札幌市教育委員会　指導主事）
⑥特別講演　「武道と人つくり」
東海大学　教授　山下　泰裕氏
(2)　分科会（第２日）
①公開授業・保育
②研究発表・研究協議
③指導講評
④閉会式

10　日　　程

全体会　10月25日(木)　北海道立総合体育センター「北海きたえーる」

9:30	10:00	10:40	11:30	12:10	13:10	14:00	15:50	17:00
受　付	開会式	表彰式	基調報告	昼　食 (公開演技)	解　説	シンポジウム	特別講演	

※昼食時に恵庭南高等学校新体操部と平岸天神(YOSAKOI ソーラン)の公開演技があります。

分科会　10月26日(金)　札幌市・恵庭市・北広島市　11会場

9:00	9:30	12:00	13:00	15:00
受　付	公開授業・保育	昼　食	研究発表 研究協議	指導講評	閉会式

※第２日（分科会）の日程は，会場により多少の違いがあります。
※(財)日本学校体育研究連合会理事・評議員会，都道府県代表者会議は10月24日(水)14時からホテルライフォート札幌にて行います。

11　参　加　費　5,000円

12　問い合わせ先　北海道大会実行委員会事務局
札幌市立手稲北小学校
〒006-0860　北海道札幌市手稲区手稲山口653番地２
ＴＥＬ　011－681－4182　　ＦＡＸ　011－681－7359

開会式　次第

1　開会のことば

北海道大会副実行委員長　　成　田　純　一

2　国歌斉唱

3　開会のあいさつ

北海道大会実行委員長　　飯　沼　　晃

4　主催者あいさつ

文部科学省　スポーツ・青少年局長　　久　保　公　人

財団法人日本学校体育研究連合会会長　　片　岡　暁　夫

北海道教育庁　教育次長　　吉　田　一　昭

5　来賓祝辞

北海道知事　　高　橋　はるみ

6　歓迎のことば

札幌副市長　　生　島　典　明

7　次期開催県あいさつ

東京大会実行委員会会長　　古　家　　眞

8　閉式のことば

北海道大会副実行委員長　　下　山　信　弘

開会のあいさつ

第51回全国学校体育研究大会
北海道大会実行委員長　**飯沼　　晃**

皆様，おはようございます。四季の彩り鮮やかな「北の大地北海道」，時計台の鐘が鳴りわたる「ロマンの街」札幌市へようこそおいでくださいました。皆様のご来道，ご来札を実行委員一同，首を長くしてお待ち申し上げておりました。心より歓迎申し上げます。

平成２年度・平成14年度に続く三度目の北海道開催となる「第51回全国学校体育研究大会北海道大会」を，学校体育研究に携わっておられる多くの方々を全国各地よりお迎えして開催できますことを，大変嬉しく感謝しているところであります。

また，本席には公務ご多用の中，北海道環境衛生部文化・スポーツ担当局長 山田　亨様，札幌市副市長 生島　典明 様のご臨席を賜っておりますことに，心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

今年の北海道の夏は大変長く，９月中旬になっても気温30度を超す日があるなど，記録的な猛暑となりました。その影響で札幌近郊の山々はもとより，道内あちこちの地域では，紅葉の時期が遅れ，ようやく色づき始めたころです。

その一方では，大雪山の旭岳や利尻富士では，この14日に昨年より２～３週間遅く初冠雪を記録し，札幌近郊の標高1,023メートルの手稲山も，19日の朝には頂上付近が真っ白になり，平野部での初雪の便りも時間の問題かと思います。朝晩は，気温が10度を下回ることもありますので，ご参会の皆様には，どうぞ風邪などをひかぬよう，ご留意いただきたいと思います。

さて，体力テストの結果から「北海道の子どもたちは，体格はいいが，体力・運動能力は全国平均を下回っている」という実態が現実にあり，道内各学校では体力・運動能力向上に向け，様々な取組が行われております。しかし，テストの数値データ向上を第一義として，一方的な指導を行うことは，学校体育の学習の場では，決して好ましいことではありません。子どもが自ら運動に取り組み，楽しもうとする意欲を高めることが重要です。私どもは，「仲間とのかかわりを通し，人間的な成長を促すための体育授業」を基本に据え，全道一体となって研究を重ねてまいりました。今大会の研究主題は，これまでの北海道における学校体育研究の成果と新学習指導要領の趣旨を踏まえ，心と体をより一体化した指導や実生活・実社会に生きる指導の充実を図ることが，生涯にわたって生き生きと運動・スポーツに親しむ子どもの育成につながると考え「未来へつなぐ健やかな心と体をはぐくむ体育学習の充実～授業から日常へ，授業から未来へ」といたしました。

この主題には，子どもたちに「確かな体育の力を身に付けさせたい。」「子どもたちの日常に発展し，将来につながることを意識した体育活動を充実させたい。」「子どもたちに楽しく明るい生活を営む態度を育てたい。」という私どもの強い願いを込めたつもりです。

明日の全11会場においての授業公開・保育公開では，道産子たちの「運動を楽しむ姿」「運動に挑戦する姿」「本気になって取り組む姿」「伸びる・できる・分かるを実感する姿」をご覧いただき，北海道学校体育研究に対する忌憚のないご意見，ご指導の程をよろしくお願いいたします。また，小・中学校７つの分科会では，道内各地での実践提案があります。こちらにつきましても，ご指導いただければ幸いです。

今日の全体会，そして明日の授業参観や研究協議と研修詰めで，さぞ頭も体もお疲れになることと思います。せっかく「でっかいどう，北海道」にいらしたんです。すぐお帰りになるのは，何とも，もったいないことです。昨年の長野大会において，次期開催地代表としてご挨拶させていただきました時に，私から「来年は北海道大会。夜のススキノ。居酒屋で一杯。豪快にビール園でジンギスカン。なんて，いいんでないかい。ラーメン横丁も，いいっしょ！みんなで札幌へ行くべや！」と，ＰＲさせていただきました。黙って帰るわけにはいきませんよね。ススキノもネオンを灯して待っています。温泉街も湯気を上げてお待ちしております。地域活性化のためにも，どうぞ皆様，北海道の味覚と晩秋の大自然を大いに満喫してお帰りください。

終わりになりますが，本大会を開催するにあたりお力添えをいただきました文部科学省，財団法人日本学校体育研究連合会はじめ関係諸機関，講師，指導助言者，シンポジストの皆様に心からお礼申し上げます。併せて，この度表彰をうけられます学校，指導者の皆様に心からの敬意とお祝いを申し上げご挨拶といたします。

主催者あいさつ

文部科学省スポーツ・青少年局長
久保公人

皆さん，おはようございます。ただいまご紹介いただきました，文部科学省スポーツ・青少年局で総括官を拝命している山口でございます。本来ならば，スポーツ・青少年局長の久保がお伺いいたしまして，主催者としてご挨拶を申し上げるところではございますが，本日公務のため出席できませんでした。私が預かってまいりました挨拶を代読させていただきます。

第51回全国学校体育研究大会北海道大会の開催にあたり，一言ご挨拶申し上げます。本研究大会にご参加いただきました皆さまには，平素よりわが国の体育・スポーツ活動の振興に多大なるご尽力を賜り，厚く御礼を申し上げます。

さて，新しい学習指導要領は，小学校では昨年度から，中学校は今年度から全面実施となり，高等学校では来年度から年次進行で実施となります。今回の学習指導要領の改訂におきましては，児童生徒が生涯にわたって健康を保持増進し，豊かなスポーツライフを実現することを重視した内容としたところでございます。

各学校におかれましては，今回の学習指導要領の改訂の趣旨を十分にご理解いただきまして，引き続き円滑な実施に努めてくださいますようお願いいたします。また，文部科学省では昨年施行されましたスポーツ基本法に基づきまして，本年３月にスポーツ基本計画を策定いたしました。このスポーツ基本計画はスポーツ基本法の理念を具体化し，今後のわが国のスポーツ施策の具体的な方向性を示すものでございます。この計画では，今後５年間に総合的かつ計画的に取り組むべき施策の一つとして「学校の体育に関する活動の充実」を掲げております。教員の指導力向上やスポーツ指導者の活用による授業の充実，運動部活動の活性化等により学校の教育活動全体を通じて児童・生徒がスポーツの楽しさや喜びを味わえるようにするとともに，体力の向上を図ることを目的としております。このことを踏まえ，文部科学省ではスポーツ基本計画の目標を達成すべく平成25年度予算の概算要求におきましても，学校における体育・運動部活動の関係予算を計上し，引き続き学校体育の充実に努めてまいりたいと考えているところです。

本研究大会は，主題を「未来へつなぐ健やかな心と体をはぐくむ体育学習の充実」として，基調講演や研究協議等を行うこととしております。参加されます皆様方の活発な協議や情報交換等が今後の学校体育の充実につながり，ひいては次代を担う子どもたちの健やかな心と体をはぐくむうえで，実り多いものになるよう期待しております。

終わりに，本研究大会の開催にあたり，ご尽力いただきました財団法人日本学校体育研究連合会をはじめ，公開授業の運営等に携わっていただいた関係教育委員会の皆様，諸学校の皆様に深く感謝を申し上げますとともに，わが国の学校体育のさらなる発展を祈念いたしまして，開催にあたりましてのご挨拶といたします。

代読　文部科学省スポーツ青少年局総括官　山口　敏

主催者あいさつ

日本学校体育研究連合会
会長　片岡暁夫

皆さんおはようございます。主催者を代表してごあいさつ申し上げます。　私は，今ご紹介にあずかりました，日本学校体育研究連合会会長を務めております片岡と申します。

第51回学校体育研究大会は北海道札幌市を中心に行われることになりました。本大会の開催に当たりご尽力をいただきました文部科学省をはじめ，北海道教育委員会，札幌市教育委員会，北海道学校体育研究連盟，そして第51回全国学校体育研究大会北海道大会実行委員会の方々，そして関係各位に日本学校体育研究連合会を代表いたしまして心から御礼申し上げる次第です。

本大会では「未来へつなぐ健やかな心と身体を育む学校体育学習の充実」という主題を掲げ，副題として「授業から日常へ 授業から未来へ」を加えて大会主題としております。全国からの参加者の期待が大きい内容だと思います。そこで，この主題について少々述べたいと思います。

まず，主題のはじめに「未来へつなぐ」という言葉が飛び込んできます。「未来」は大変重要な言葉です。人間は未来に実現する設計図を作ることができます。それを実現して生きる力をもっております。目標が，あるいは目当てが立てられて実現しようとされていくものです。そこには様々な設計図があるでしょう。短期のもの，長期のものがあります。そこで一貫するのは個人や集団の態度です。粘り強く諦めず，目標を実現する態度です。それぞれの人と集団の個性に応じて態度を築いていく，形成していくことが重要でしょう。困難や障害を乗り越える意志の形成，冒険を恐れず，愛好する態度を培うことは世界的に活躍する民族の特徴であります。人類の未来のために活躍する人間の形成は，日本人を育てる教育課程において重要課題であります。北海道の大地から人類の未来を担う人々が育つと期待されるものであります。

そして，次に「健やかな心と身体」でありますが，そのためには自分たちの心と身体を深いところで知ることが大切であります。心と身体が融け合う，そういうことを知らなければなりません。そのためには達成意欲のある練習が大切であります。その時々，目標は変わるでしょう。しかし，その目標と融合する心と身体は練習により未来へとつながっていきます。健やかという生き方には，未来を実現する心身のエネルギーに満ちた生命力溢れる人間に支えられるのであります。そのような人々が少なくとも12年間委託されるのが学校体育であります。幼小中高の１５年間を未来に向けて，日本の体育の基礎を作ることが期待されます。

「授業から日常へ，授業から未来へ」という副題についてでありますが，教育の働きが展開していく有様に期待するものであります。北海道からスケールの大きな人物が輩出されております。特色ある風土であります。本大会の主題を巡ってさらに深い考察が展開されることと思います。

ここでは，私の所感の一端をのべさせていただきました。

最後になりましたが，２日間にわたって行われるシンポジウムや公開授業，そして研究討議，研究発表を元に，スポーツ基本法の時代背景の下，指導要領の理解を深める研究討議が展開され，全国各地に成果を持ち帰られることを期待いたしまして，ご挨拶といたします。

ありがとうございました。

主催者あいさつ

北海道教育庁
教育次長　吉田一昭

皆さん，おはようございます。

第51回全国学校体育研究大会北海道大会が，全国各地から多数の御参加をいただき，このように盛大に開催できますことを心から感謝申し上げます。

本大会が，文部科学省及び財団法人日本学校体育研究連合会の皆様の御指導と全国の学校体育関係者の熱心な取組によりまして，年々充実・発展を遂げられておりますことに，深く敬意を表する次第です。

また，本日，優良校及び功労者表彰を受賞されます皆様方には，心からお祝い申し上げますとともに，今後とも学校体育の発展に一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

さて，幼稚園，小・中・高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等が改訂され，順次実施されておりますが，子どもたちに「生きる力」を確実に身に付けさせていくことの重要性が改めて強調されているところであり，そのために，「確かな学力」，「豊かな心」，「健やかな体」の調和を一層重視した教育を展開していくことが重要であります。

子どもの体力の低下や運動する子どもとそうでない子どもの二極化の傾向が課題として指摘される中，体育科・保健体育科については，「健やかな体」を育む観点から，生涯にわたって健康を保持増進し，豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成することができるよう，指導内容の明確化や体系化などの改善が図られ，学習指導要領で示された指導内容を確実に身に付けさせることが求められております。

特に，体力については，健康の保持増進のほか，意欲や気力といった精神面の充実に大きくかかわっており，人間の発達・成長を支え，知性を磨き，知力を働かせて活動をしていく源となるものであり，学校，家庭，地域がそれぞれの役割をしっかりと果たしながら，社会全体で，将来を担う子どもたちの体力・運動能力の向上に取り組むことが必要です。

このような中，本道におきましても，学校，家庭，地域が子どもの体力づくりに取り組んでいくための具体的な方策や北海道教育委員会の支援策などを示した「体力向上支援プログラム」を作成し，各学校の創意工夫を生かした継続的な体力づくりの取組である「１校１実践」や子どもたちが縄跳びなどの記録に挑戦する「どさん子元気アップチャレンジ」などを積極的に推進しているところです。

本大会では，「未来へつなぐ健やかな心と体をはぐくむ体育学習の充実」を大会主題として，参加者の方々の活発な議論が展開され，その成果が体育学習に生かされるとともに，諸課題の解決に役立つことを心から願っております。

最後になりましたが，本大会の開催に当たり，御尽力を賜りました関係の皆様方に心から感謝申し上げますとともに，御参会の皆様の益々の御健勝と御活躍を心からお祈り申し上げまして，挨拶とさせていただきます。

来賓祝辞

北海道知事
高　橋　はるみ

本来であれば，高橋知事が出席し，ご挨拶を申し上げるところ所用のため出席がかないませんでしたので，知事から預かってまいりましたメッセージを私から代読させていただきます。

第51回全国学校体育研究大会北海道大会が，盛大に開催されますことをお祝い申し上げますとともに，ご来道の皆様を心から歓迎いたします。

本日ご参会の皆様におかれましては，子どもたちの心身ともに健やかな成長を目指して，日頃から教育活動に熱心に取り組まれていることに深く敬意を表します。

また，本日，これまでの学校体育の研究と実践活動により，全国表彰を受けられる皆様に，重ねてお祝い申し上げます。

子どもたちを取り巻く社会情勢が大きく変化する中，次代を担う子どもたちが，豊かなスポーツライフを実現するためには，学校における体育活動が大変重要と考えます。

本大会では，授業づくりをテーマとしたシンポジウムや幼稚園から高校まで，様々なテーマでの公開授業が行われると伺っており，今後の体育授業づくりに寄与されるとともに活発な情報交換が行われ，実り多い大会となることを期待いたします。

終わりに，大会の開催にご尽力された関係の皆様に深く敬意を表しますとともに，本大会のご成功とご参会の皆様のご健勝，ご活躍を心からお祈り申し上げ，あいさつといたします。

代読　　北海道環境生活部文化・スポーツ担当局長　　山　田　　亨

次期開催県あいさつ

東京大会実行委員会会長
古家　眞

皆様，おはようございます。

私は，東京大会会長を仰せ付かっております港区立江南小学校古家眞でございます。第51回北海道大会の開催，誠におめでとうございます。

さて，東京大会は，昭和54年度，55年度の連続開催以来，33年振りの開催でございます。全体会の会場は，日本のスポーツ文化の殿堂，両国国技館でございます。3500人が入れます。東京スカイツリーも出来上がりまして，全国からの皆様方のご参会をお待ち申し上げております。

さて，この間私たち実行委員会は，福岡大会，長野大会，そして北海道大会の実行委員会の皆様のご意見を拝聴しながら，そして文部科学省，学校体育連盟のご指導を頂戴しながら研究を進めてまいりました。そして，現在プレ授業を全ての幼稚園，学校で実施している最中でございます。

なお，来年２月８日には，私の学校港区立江南小学校で，全国へ向けてのプレ大会を実施いたします。新幹線ＪＲ品川駅から徒歩10分でございます。また，羽田空港からも20分という大変近いところにございますので，ぜひこちらにもご参会お願いいたします。

最後になりましたが，東京の教員が校種を超えて，あと１年しっかりと準備して，東京大会を成功させることをお誓い申し上げ，簡単ではございますが，次期開催県からのご挨拶とさせていただきます。

歓迎のことば

札幌市副市長
生島典明

皆様，おはようございます。

全国各地で体育教育に携わっている，今日お集まりの皆様を，192万札幌市民とともに，心から歓迎申し上げます。

本研究大会のテーマの「体育が体を造ることに加えて，心を創っていくこと」は，この時代に非常に望まれていることです。特にチームスポーツを考えると，“弱い人の分を強い人が補っていく”，“一人が失敗をしたらそれを後ろでカバーしていく”等，人間相互間の信頼や連携する心を培うことが，今一番求められていることです。また，“苦しい練習を乗り越えて，輝かしい勝利をするような強い心を育てていく”ことでも，体育の役割は非常に大きいと思っております。

未来につなぐことを考えると，ご存知の通り，日本は高齢化がものすごい勢いで進んでいます。長寿社会を迎えることは非常に素晴らしいことですが，皆が健康で活力のある長寿社会でなければならない。小さい時から体を動かすことが身に付き，習慣となり，生涯スポーツにつなげていく。それが，皆が豊かに暮らせる長寿社会を迎えられることと考えております。その意味でも，今日集まっている皆さんの責任は重大だと考えております。

学校教育を終え，卒業する時に『体育の時間は楽しかったな。これからもスポーツを続けよう。』という気持ちで学校を巣立っていくような教育を目指してほしいと思います。

私は今日，二種類のバッチを付けております。一つは，札幌市長が“札幌スマイルバッチ”と呼んでいるもので，札幌を訪れた人がみんな笑顔になるような，まちづくりを奨励しているものです。もう一つは，マイス（ＭＩＣＥ）という言葉のバッチ（Ｍ＝ミーティング，Ｉ＝インセンティブ，Ｃ＝コンベンション，Ｅ＝イベント）です。

今日のこの場はＣ＝コンベンションで，札幌の街に多くの人が集まっているのです。人が集うという意味で，札幌はＭＩＣＥを盛んにしていこうと思っています。

先ほど実行委員長がＭＩＣＥの意味をよく理解して話してくれましたが，本当に良い時期に，ここ北海道札幌に皆さんをお迎えすることが出来たと思います。素晴らしい景色と食の王国であります北海道を，存分に楽しんでいただきたいと思います。

結びになりますが，この研究大会の成果が輝かしいものになりますこと，それと，皆さま方のご健勝・ご活躍を心から祈念致しまして，歓迎のご挨拶と致します。

本日は誠におめでとうございます。